

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富士屋ホテル(仮称)新厨房・カスケード	階数	地上3F地下1F
建設地	神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下359	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,100時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	2,152 m ²	作成者	株式会社石本建築事務所
建築面積	1,113 m ²	確認日	2018年11月1日
延床面積	2,846 m ²	確認者	株式会社石本建築事務所

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他		
箱根・宮ノ下に位置する富士屋ホテルは、1878年(明治11年)創業のリゾートクラシックホテルとして、多数の国内外著名人に愛されてきた。現在の主要建物の多くが明治から昭和初期に建設されたもので、その歴史性と意匠性により文化財(国登録有形文化財・近代化産業遺産・箱根町登録特定歴史的建造物)に指定されている。豊かな自然と文化財建築物の作り出す景観を継承した改修・改築計画を行った。	長い年月をかけて形作られてきた文化財指定の建築物群による景観を継承できる外観計画、箱根の豊かな自然を活かした建築計画を行った。		
Q1 室内環境 カスケードルーム(レストラン)のホワイエは庭園側に大きな開口部を設け、明るく快適な空間とした。	Q2 サービス性能 カスケードルーム(レストラン)は旧施設の内装を再現しており、歴史性が感じられる上質な空間づくりを行った。	Q3 室外環境(敷地内) 外壁や屋根は隣接した文化財建築物と同系色の色彩とし、建物群として一体感のある景観づくりを行った。国道側は新たに緑地を設けた。箱根地域の植生に配慮した植栽、近隣地域の石材を配置した庭園とした。	
LR1 エネルギー 外壁や屋根の断熱性能の確保、LED照明、高効率機器を採用し、一次エネルギー消費量の削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用を行った。	LR3 敷地外環境 敷地内の豊かな既存林と新規緑地により、蒸散効果のある被覆面積を大きく確保した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される